

UNISEC Workshop 2015

活動報告会 CanSat WG



○ 平澤 遼
中村 将大

慶應義塾大学
東京理科大学

目次

❖2015年度 活動報告

- 大会結果 能代宇宙イベント
- 大会結果 ARLISS

❖新コンペティションの検討

❖最後に

活動報告

能代宇宙イベント



❖ランバック部門 優勝

- 日本文理大学NBU CANSATプロジェクト
(6.81m)

❖フライバック部門 優勝

- 静岡大学 SATT
(36m)

能代宇宙イベント



❖ ミッション部門

- アイディア賞/難易度賞/
このミッションがすごい！賞
東京工業大学 SpaceTrekkers
- 社会貢献度賞/オーディエンス賞
室蘭工業大学 SARD

ARLISS



❖ カムバックコンペティション

- Accuracy Award

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 電気通信大学 GAIA | 2611 m |
| 2. 愛知工科大学 STELA | 3617 m |
| 3. 首都大学東京 TMR-i | 4872 m |

- Technology Award

- | | |
|---------------|----------------|
| • 飛行技術 | 東京大学 UT-RAIDEN |
| • 地上移動技術 | 電気通信大学 GAIA |
| • カムバックアルゴリズム | 電気通信大学 GAIA |
| • イノベーション技術 | 東京理科大学 keyaki |

ARLISS



❖ ミッションコンペティション

- Best Mission Award
 1. 電気通信大学 GAIA
 2. ソウル大学 SNUSAT
 3. 東京工業大学 Eccentricity
 4. 九州工業大学 KITCATS
- UNISEC Award
 - 慶應義塾大学 Keio Team Wolve'Z

情報共有にむけて

- ❖ CanSatのベース技術を共有する
 - 大会報告書の形式改善
 - CanSat知恵袋

技術的に踏み込んだ報告書



Webベースの情報蓄積・共有

新コンペティションの検討

コンペティションの種類

❖ カムバックコンペ

- ゴール点を目指すミッション
- 比較基準が明快

性質が変化？

❖ ミッションコンペ

- 自主的に定めたミッション
- 比較基準があいまい

競争要素の変化

フライバック



ランバック

設計・
アルゴリズム



技術力

試験方法を
検討



明確な試験を
実施

新コンペのモチベーション

❖カムバックコンペ

- あらかじめ設計の大枠が分かっている
- 技術力勝負
- 実用衛星の開発に近い

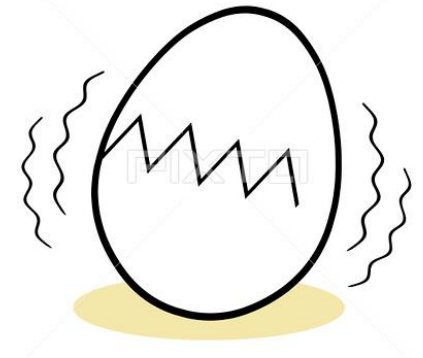
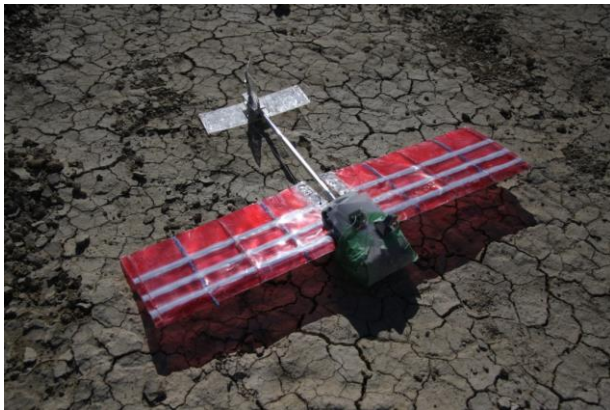
❖新コンペ

- ソリューションの常識がまだない
- アイデア勝負
- 探査衛星・探査ローバの開発に近い

新コンペ検討ディスカッション

❖話し合い結果①

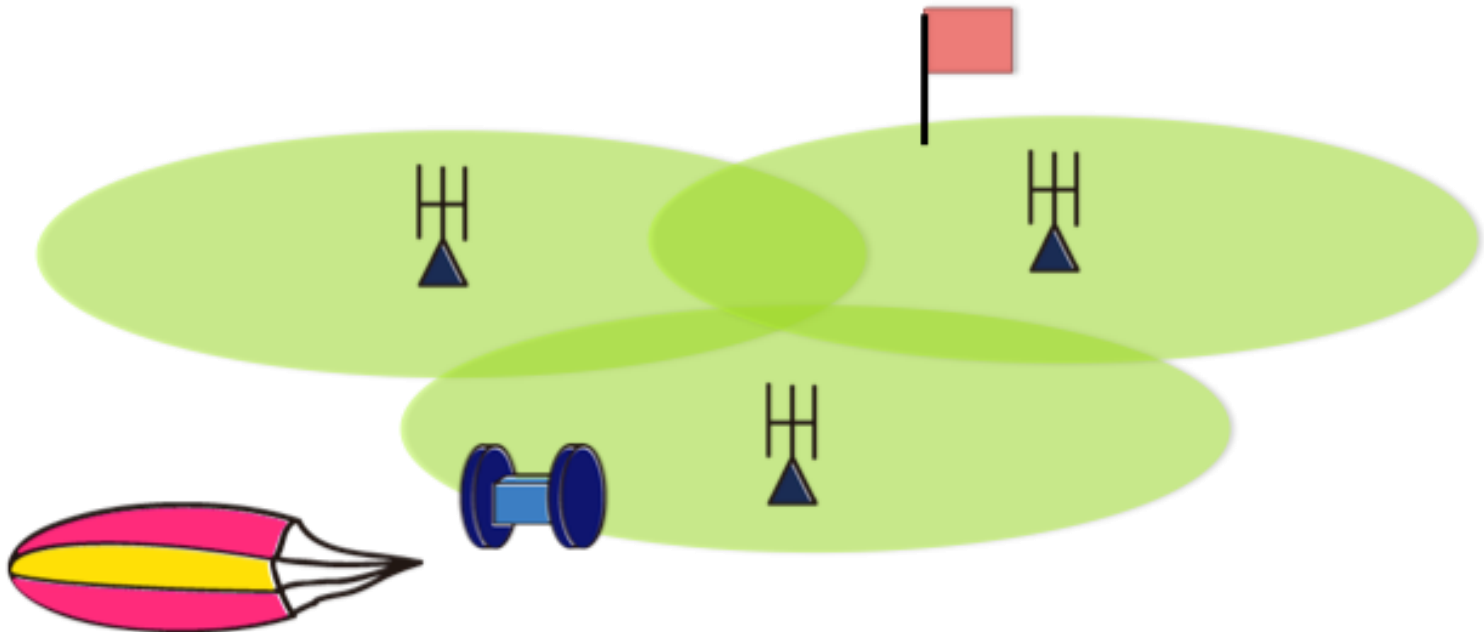
- パラシュートを使わない原則機構でエッグリフト



新コンペ検討ディスカッション

❖話し合い結果②

- GPSを使わないカムバックコンペ



新コンペ検討ディスカッション

❖話し合い結果③

- どれだけ地面を掘ったかコンペ



さいごに



**Facebookページ，知ってますか？
ぜひ，見てみてください。**

> CanSat開発団体さま

CanSat紹介をしてもらいたいです！

文章と写真をCanSatWG運営まで送ってください。